

今回のテーマは **しごと（創業）**

生活するためには、「しごと」をすることが必要です。「しごと」と聞くと、会社へ就職して給料をもらって働くイメージが強いと思いますが、新規に事業を起こす（創業）という方法もあります。

今回は、十和田市でCafe Happy TREE（稲生町14-44）を創業した白山紋子さんと飯田雄治さんに話を伺いました。



白山さん 「いつかは自分の店を持ちたいと考えていましたが、1人で創業する自信はありませんでした。昨年7月に飯田さんと2人で創業しました。」

飯田さん 「今年の5月に現在地に移転しました。ここは築70年の空き店舗だったのですが、補助金や融資は受けずに自分たちでリフォームしました。ここでは近所の商店とのつながりもあって、お互いに助け合っていると感じます。『ココにいてココじゃない空間へ』という非日常感をコンセプトにこだわりを持ってやっています。お客さんの中には、創業の相談に来るかたもいます。一緒に何かできたらいいという思いで、私たちの経験を基にアドバイスしています。新しい店ができれば、連携して盛り上げていきたいです。」

白山 紋子さん PROFILE

十和田市出身。専門学校で製菓技術を学んだ後、製菓店に勤務。音楽活動で知り合った飯田さんと共同でカフェを創業した。カフェではスイーツを担当する。

飯田 雄治さん PROFILE

岩手県久慈市出身。東京を中心に音楽活動などをしてきたが、両親と暮らすために十和田市へ移住。アメリカで旅をしながら得た経験を生かして、本場の味を伝えたいと共同でカフェを創業した。カフェではベーグルとコーヒーを担当する。

創業支援 市の取り組み一例

閩商工労政課商工係 ☎⑤ 6773

◇空き店舗の改装工事費の補助

商店街の空き店舗に新規出店するかたに改装工事費の一部を補助します。

補助金額…補助対象経費の2分の1（上限50万円）

◇空き店舗活用チャレンジ融資

商店街の空き店舗に新規出店するかたで、「空き店舗活用チャレンジ融資」（青森県の融資制度）を利用するかたの利子と保証料を補給します。

十和田市の課題、将来像についてのご意見を募集します

閩政策財政課政策企画係 ☎⑤ 6710

市民の意見を反映させたまちづくりを進めるため、市民の皆さまのお考えを伺うことを目的として意見箱を設置します。市の課題、市の目指す将来像などのご意見をお寄せください。

設置期間 11月1日(日)～11月23日(月)

設置場所 南公民館・東公民館・十和田湖公民館・市民交流プラザ「タワーレ」・市民図書館・市民文化センター

「異性と出会う機会がない」という独身の男女のかたへ

ハピ婚パーティーの参加者を募集します

独身男女の出会いの機会を提供するため、ハピ婚実行委員会（三浦安矢会長）がハピ婚パーティーを開催します。

参加者は開催の約2週間前から、お互いの履歴書を見ることが出来ます。会場では、異性の参加者全員とお話をした後、飲食を楽しみながらのフリータイムとなります。

とき 平成28年2月7日(日)午後5時～

ところ サン・ロイヤルとわだ

会費 男性4,000円、女性2,000円

参加資格 20～40代の独身のかた

募集人数 男女各50人

申問 ヘアギャラリー楽山 ☎⑤6760

シェルクレール ☎④3901

サン・ロイヤルとわだ ☎③2266



◆問い合わせ先に備え付けの参加申込書に記入の上、お申し込みください

※今回のハピ婚パーティーは、『元気な十和田市づくり市民活動支援事業補助金』を活用して行われます